

(1) “等”の追加

別紙-3① (施工状況… I 施工管理)

工事成績採点の審査項目の審査項目別運用表

(検 査 職 員)

[記入方法] 該当するチェック項目「・」に○マークを記入する。

考 査 項 目	細 別	a	b	c	d	e
2. 施工状況	I. 施工管理	施工管理が優れている	施工管理がやや優れている	他の事項に該当しない場合	施工管理がやや不備である	施工管理が不備である
		<p>【○：評価対象項目】</p> <p>品質証明体制が確立され、品質証明員による関係書類、出来形、品質等の確認を工事全般にわたって行っていることが確認できる。(3億円以上の工事及び事務所長等が必要と認める工事)</p> <p><input type="checkbox"/> 品質証明員届が提出されている。</p> <ul style="list-style-type: none"> 品質証明員は10年以上の現場経験を有し、一級土木施工管理技士又は技術士の資格を有しているである。 適切な時期に現場の施工実態の確認を実施している。 検査前に工事関係書類等の事前確認を実施している。 品質証明書の書式が指定されたものである。 <p><input type="checkbox"/> 工事材料の品質を確保していることが確認できる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 工事に使用する材料の材料名、規格、数量、製造業者名、品質証明等が、施工計画書の「主要資材」に適切に記載されている。 工事材料の品質を証明する資料が適切に整備、保管されている。 JISマーク表示品等については、JISマーク表示状態等を示す写真等確認資料の提示により、品質証明資料等の提出又は提示を省略している。(工事書類の簡素化) 工事材料を品質に影響が無いよう保管している。 指定材料について、監督員の確認を受け、材料確認書が提出されている。 <p><input type="checkbox"/> その他 ()</p> <p>●判断基準</p> <p>評価値が90%以上…………… a</p> <p>評価値が80%以上～90%未満…………… b</p> <p>評価値が60%以上～80%未満…………… c</p> <p>評価値が60%未満…………… d</p> <p>※評価対象項目数が2項目以下の場合、c評価とする</p>				
		<p>【評価方法】</p> <p>①チェック項目「・」のうち、該当項目は「○」、該当なしは「×」、評価の対象としない項目は「無」を選択する。</p> <p>②評価対象項目「□」のうち、該当項目は「■」、該当なしは「×」、評価の対象としないものは「□」のままとする。</p> <p>③評価対象項目の下欄のチェック項目「・」が複数の場合、チェック項目総数の2/3以上であれば、□を■に変更する。⇒(該当していることを明示)</p>				
		<p>評価値 () % = 該当項目数 (0) / 評価対象項目数 (0)</p>				